

広 報

みなみふらの 2

祝 南富良野町二十歳を祝う会

2023. FEBRUARY No.803



- P2 令和5年二十歳を祝う会
- P3 令和5年消防出初式
- P4 まちの話題・出来事、観光協会通信
- P5 民生委員・児童委員の委嘱、急流救助用資器材の整備
- P6 ~ 9 町議会定例会 行政報告・教育行政報告
- P10 ~11 カメラレポート
- P12 教育委員会通信
- P13 南富高新聞、学校だより
- P14 ほのお
- P15 子育て支援センターだより
- P16 保育所の元気な子どもたち
「税を考える」取組に対して、寄附・寄贈

二十歳を祝う会（1月8日）



1月8日「二十歳を祝う会」が保健福祉センターみなくろで開催されました。

民法改正により、昨年4月に成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。進学や就職活動などとなることから、本町ではこれまで同様に「成人式」から「二十歳を祝う会」として名称を変更し、本年度に二十歳を迎えられる皆さんを祝福しました。

祝う会は、家族や来賓の方々が見守る中、真新しいスーツや晴れ着に身を包んだ27名がステージから一人ひとり登場し、二十歳の抱負などを述べ始めました。

鈴木教育長が「これからの人生の中で、皆さんの苦労や努力が必要となるかもしれませんが、自分の力を信じ、自分の意志と行動で輝ける人生を切り開いて行つて

ください」と式辞を述べられ、来賓者を代表し、高橋町長と酒井町議会副議長から激励の言葉が贈られました。

参加者を代表して中島大誠さんと安西百々子さんより「郷土である南富良野町の発展のために若い力を結集し、共に力を尽くします」と誓いのことばを力強く述べられ、佐藤圭佑さんと大泉まどかさんが「飲酒運転、無免許運転は絶対にしません」と交通安全宣言を行いました。

また、宮森一真さんより「皆様方からいただきました意義深い教訓をしっかりと胸に刻み、自覚を新たにし自分なりに最善を尽くしていきたい」と謝辞を述べられ、皆さんは、自分たちが次代を担っていく決意を新たにしてい

1月4日、新年恒例の消防出初式が行われ、多くの来賓が見守る中、制服に身を包んだ消防団員と署員57名が保健福祉センターみなくろに勢ぞろいし、高橋町長や広域連合消防本部安井消防長、清水消防団長などの点呼、観閲を受けました。

引き続き会場をみなくろホールに移した式典では、厳粛な雰囲気の中、多くの来賓を前に各分団

の昨年1年間の火災予防や消火活動に対し、町長から感謝状のほか永年勤続団員に対する表彰などの授与・伝達が行われました。

その後、町長の式辞では「消防人としての高い誇りと、その職務の重要性を深く認識し、地域住民の厚い信頼に応えていただくことを期待します」と述べられ、消防長訓示、来賓の酒井副議長・村田富良野警察署長・馬場上富良野

駐屯地第131特科大隊長からの祝辞のあと、清水消防団長が「南富良野消防団の伝統と実績を引き継ぎ、団員一丸となって、地域住民の安全と郷土の繁栄のためさらに努力していきたい」と挨拶が述べられ、参列した皆さんは、今年1年の無火災・無事故を願いました。



■南富良野町長感謝状

南富良野消防団第1分団（幾寅・第2分団（落合）第3分団（下金山）・第4分団（金山）

■富良野広域連合長感謝状

20年勤続

第1分団

班長 宮森宣行

第2分団

班長 渡辺誠路

第3分団

班長 新野和也

第4分団

班長 笠原隆平

■富良野広域連合消防長表彰

20年勤続

第1分団

班長 宮森宣行

■北海道消防協会長表彰

20年勤続

第1分団

班長 渡辺誠路

第2分団

班長 新野和也

第3分団

班長 笠原隆平

第4分団

班長 永井元勝

■南富良野消防団長表彰

15年勤続

第3分団

班長 佐藤信雄

5年勤続

第1分団 団員 六戸和磨
第2分団 団員 八木橋良紀
第3分団 団員 佐藤和弘

令和4年中の各表彰受賞者

◆北海道知事表彰（令和4年11月21日受賞）

30年勤続 第4分団 団員 高岡泰彦
20年勤続 第2分団 団員 新野和也

10年勤続 第3分団 団員 笠原隆平
第4分団 団員 大橋健二

◆日本消防協会表彰（令和4年3月4日受賞）

30年勤続 第4分団 団員 高岡泰彦
功 労 章 第2分団 団員 新野和也

◆上川地区消防団長会表彰（令和4年4月22日受賞）

功 労 章 第2分団 団員 新野和也
功 労 章 第2分団 団員 笠原隆平

◆上川地区消防団長会表彰（令和4年4月22日受賞）

功 労 章 第2分団 団員 新野和也
功 労 章 第2分団 団員 笠原隆平

◆富良野地区分会表彰（令和4年7月3日受賞）

功 績 章 第2分団 団員 古橋国久・山下 陽
第3分団 団員 金 哲也

南富良野高等学校

吹奏楽部

第9回定期演奏会

12月22日、南富良野高等学校校体育館で吹奏楽部の第9回定期演奏会が開催されました。

吹奏楽部は、ユーフォニアム・ドラムを担当する太田末緒部長（3年）とアルトサックスを担当する猪口紗希さん（1年）、トロンボーンを担当する箱崎乃亜さん（1年）の3名で、一般公開による定期演奏会は、3年ぶりとなります。部員みんな初めての経験となります。

演奏会では、顧問の白鳥道子教



諭（ピアノ）と楯石保史教頭（アルトサックス）も参加し、ゲームのテーマ曲「ドラゴンクエスト」やアニメのテーマ曲「ジブリコレクション」をはじめ、「マッケンサンバⅡ」などバリエーションに富んだ8曲が演奏され、少人数でも力強い音色に、訪れた方々から熱い拍手が贈られました。

演奏の途中には、今回の演奏会で部を引退する太田部長が「入部してから人前で演奏する機会がなく、昨年は一人になりどうしようかと思っただけ、今年二人の後輩が入部してくれて助かった。今回はこのような機会をいただけて、大変うれいす」と笑顔で挨拶を行いました。



観光協会

通信⑧

南富良野まちづくり観光協会 ☎39-7000

安全に注意しながら

冬のアクティビティを楽しみましょう！

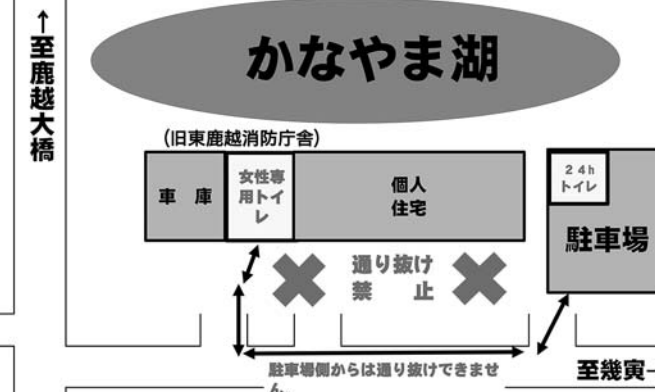
～地域おこし協力隊レポート～ 松原 茉由美



地域おこし協力隊として、南富良野町に9月に赴任してから初めての冬がやってきました。雪の降り始めは、思っていたより雪が少なく過ごしやすいのかと感じていましたが、クリスマス前にいきなり的大雪で、除雪の大変さが身に沁みました。しかし、南富良野町では冬のアクティビティが充実していて楽しみも盛りだくさんです。

スキーやカーリングに犬ぞり、ワカサギ釣りまでできるのです。早速ワカサギ釣りから挑戦をして、たくさんの方々へ楽しさを伝えていきたいと思います。なお、観光協会では日々のワカサギ釣り情報などをSNSで発信する予定ですので、是非参考にしてください。アクティビティは楽しいですが、自然が相手です。くれぐれも天候や気温を見ながら無理をしないで楽しみましょう。特にワカサギ釣りはテントでの一酸化炭素中毒が危険です。喚起には十分に注意を払ってください。初めての挑戦なので下手かもしれませんが、見かけたときは是非声を掛けてください。

○本年度から、ワカサギ釣り駐車場に、女性専用トイレが開設されました。（右の図を参照）ご利用の際はマナーを守り、みんなでワカサギ釣りを楽しみましょう。
※使用時間：9：00～17：00
※駐車場から女性専用トイレに行くのには、道路を通行してください（個人住宅の前は通り抜けできません）。



まちの民生委員・児童委員を紹介します

民生委員・児童委員としてご活躍いただきました方々が11月30日をもって任期満了となり、11名の方々が、12月1日付けで厚生労働大臣及び北海道知事から民生委員・児童委員として委嘱されました。

委員の方々には、子どもや家庭のこと、ボランティア活動に関すること、福祉に関する各種制度の連絡に関することなど、これから3年間、私たちの身近な相談役としてご活躍いただきます。お気軽にご相談ください。

					○協議会のプロフィール 氏名(敬称略) ①住所 ②担当地区 ③電話番号
田口 ひろ子 ① 幾寅 ② 東町 ③ 52-2834	香川 瑛道 ① 落合 ② 落合全域 ③ 53-2266	山西 春美 ① 幾寅 ② 住吉・仲町農家地区 ③ 52-2382	副会長 後藤 健壽 ① 幾寅 ② 栄町・内藤 ③ 090-7650-6832	会長 山内 茂樹 ① 幾寅 ② 西町・岐阜東鹿越地区 ③ 52-2854	
					
主任児童委員 中島 洋子 ① 幾寅 ② 町内全域 ③ 52-2360	主任児童委員 高橋 紀代美 ① 幾寅 ② 町内全域 ③ 52-2127	久保田 佑美香 ① 北落合 ② 北落合全域 ③ 56-7414	山上 隆裕 ① 金山 ② 金山全域 ③ 54-2354	種田 保子 ① 下金山 ② 下金山全域 ③ 55-2235	大道 松枝 ① 幾寅 ② 朝日町・千木町 ③ 52-2572

宝くじの助成金を活用し急流救助用資器材を整備

(南富良野消防団)



南富良野消防団では、安全な地域づくりを推進し、河川等での水難救助活動の充実・強化を図るため、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの収益金を財源とする一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して「急流救助用資器材」を整備しました。

近年は、気象状況の変化によるゲリラ豪雨等が日本各地にて発生しており、消防団員の協力なしでは水難救助活動が成り立ちません。今回の整備により水難救助活動が一層充実され、住民サービスの向上が期待されます。

○整備された急流救助用資器材1式



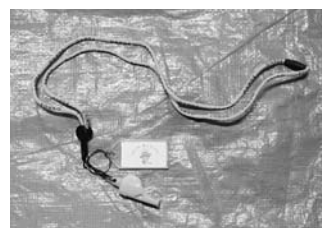
ボート 1艇



救命胴衣 10着



パドル 8本



ホイッスル 10個

町議会定例会 行政報告・教育行政報告

令和4年12月14日から開催されました町議会第4回定例会において、高橋町長が14件の行政報告と鈴木教育長が4件の教育行政報告を行いました内容についてお伝えします。

町長の 行政報告



■令和4年度上期ふるさと納税の納付状況について
令和4年10月末現在までのふるさと納税額については、昨年同期と比較し、件数は、昨年同期と比較し、件数は、

企画課関連

では613件増の1,926件、納税額では556万9千円増の2,933万3千円となり昨年度を上回る寄附額で推移しています。
また、本年度の取り組みとして10月24日から30日までの7日間、横浜市で開催された「ほっかいどう応援フェスティバル横浜駅」のイベントに職員が参加しました。期間中は、新規納税者やリピーターの獲得に繋げる取り組みとして、返礼品の展示や町を紹介するパンフレットの配布、寄附金の使途に関するパネル展示など、首都圏の方々へ本町の知名度アップに努め、イベント参加直後から、ふるさと納税サイトへの申し込みが増加するなどの効果がありました。引き続き、寄附件数

ます。

産業課関連

■肥料飼料等価格高騰に対する影響緩和対策補助金について
新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢、円安の進行等により、肥料や飼料など営農を行う上で必要な生産資材等の価格が高騰し、農業、酪農経営者は大変厳しい経営環境を迎えています。

■令和4年度上期観光客の入込状況について
令和4年9月末現在までの町全体の観光客入込数については、昨年同期と比較し、9万9千人増の27万8千人となり、昨年度を上回る入込客数で推移しております。そのうち道の駅物産センターへの入込客数については、本年4月に大型アウトドアショップ並びにレストランやフードコートが入店する複合型商業施設が開業した相乗効果もあり昨年同期と比較し、6万7千人増の19万3千人と昨年度を大きく上回る入込客数で推移しています。

また、今年度の新たな試みとして例年、閑散期を迎える冬季間の課題である観光客確保に向け、冬に楽しめるアクティビティのPRや道の駅複合型商業施設及び宿泊施設などを紹介する広告を上川、空知、十勝管内並びに札幌市内中心部を対象に新聞57万部に掲載いたしました。引き続き、年間を通して誘客に向け今後も効果的な情報発信に努めます。

寄附金額の増加に向け返礼品の効果的な情報発信などに努めてまいります。

■車座ミーティングの実施について

本年度より新たに開始しました「車座ミーティング」では、これまで取り組んできた協働のまちづくりをさらに進めるため、町長が直接町内の各種団体やグループのメンバーと懇談し、町の政策やまちづくりへの意見、ご提案をお聞きし、町民の声を大切にして今後の行政運営に生かしていくことを目的として実施しています。



車座ミーティング（南富良野高校）

11月17日と18日の2日間の日程で実施いたしました。

参加者は、農業経営者及び後継者9人、町農政担当職員で、1日目は、当別町のサージミヤワキ株を視察し、農作物被害防止による野生動物用品について担当者より商品等の説明をいただきました。

その後、札幌市の宿泊ホテル内において懇談会を開催し、「南富良野町の10年後の農業について」をテーマに意見交換を行い、町内農業人口の減少による不安や将来への課題等について意見交換を行いました。

2日目は、江別市のヤマアグリジャパン（株）北海道支社を訪問し、トラクタの自動操舵によるスマート農業について担当者

わっている活動グループと実施しました。

高等学校生徒からはドラッグストアをはじめ町民生活に必要な商業サービスに関して率直なご意見やご提案をいただき、落合の活動グループからは町の情報発信の強化及び必要性、道の駅を核とした観光の推進、まちとしてのプロモーションの重要性、住民による町の魅力の再発見に向けたアプローチなど、様々なご意見をいただいたおり、今後の予算編成やまちづくりの推進に反映させてまいります。

■富良野新得間のJR根室線に替わるバス運行の検討状況について

富良野、新得間のJR根室線に替わるバスの運行ルートについては、国道38号線を経由して落合・幾寅から富良野市を結ぶ国道38号線ルートとかなやま湖畔を経由してトマムから町内各地区を繋ぎ富良野市と結ぶ2系統を基本にして、現在、JR北海道及びバス事業者等と収支、運行体制などについて協議を進めています。協議の経過であります。国道38号線ルートについては、バス事業者との協議において、営業区間を富良野市、幾寅間とすることが示

より説明をいただき研修をいたしました。

参加者は少ない人数での研修となりましたが、現在の農業に関する課題や将来の農業について課題を話し合うことが出来たことは成果であります。来年度も引き続き、本町の農業を担う若手農業者間の交流を実施してまいります。

建設課関連

■町道の除雪について

本年度の町道除雪については、住民皆さまの除雪ニーズに対応するため、幾寅を除く各地区は、地域密着型の除雪体制により実施し、幾寅・東鹿越地区は、道路及び公共施設に分けて、業者の対応が円滑となるような除雪体制に努めているところであります。

除雪の出動は、概ね10センチの積雪を目安とし、天候状況や予報などを考慮して判断していますが、安全第一を最優先に、悪天候時や夜間は除雪を行わないことにしていますので、ご理解をお願いいたします。

また、幹線並びに歩道は通勤通学に支障がないように、午前7時までに除雪を完了するよう努めています。積雪の状況によっては、遅れる場合があるほか、路

され、町としても運行体制上やむを得ないと理解し、幾寅、落合間はデマンドバスにより本線バスに接続することで対処してまいります。

また、かなやま湖畔を経由するバスルートについては、協議検討の結果、各地区において望ましい運行時間帯の確保や経費の抑制を考慮いたしまして、トマムから落合・幾寅を経由して東鹿越森林公園までのルートと金山から下金山を経て富良野市と結ぶルートに分割して、バスを運行するように見直しをしています。

これらのバス運行計画について、JR北海道と協議を行ったところ、運行に必要な支援金など概ね理解が得られると判断いたしましたので、去る11月30日に町議会に説明をさせていただきましたところであります。

鉄道を含む地域公共交通の維持確保について、本町を取り巻く環境が刻々と厳しさを増しています。私としましては、地域住民の長期的かつ安定的な移動手段の確保を図るため、バス転換の取り組みを加速させ、4市町村の合意やJR北海道との大筋合意に向けて協議を進めてまいりますので、町民皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

保健福祉課関連

■新型コロナウィルスワクチン接種について

新型コロナウィルスワクチン接種については、現在、ワクチン接種意向調査に基づき、オミクロン株対応の2価ワクチンの接種を進めているところであります。12月1日現在の2価ワクチン接種者数は、接種希望者数1,588人のうち1,199人で、接種率は75・5％となっております。

また、6ヶ月以上4歳以下の乳幼児に対するワクチン接種については、3回の接種が必要となりますことから対象となる保護者宛にご案内し、11月16日から富良野協会病院のご協力をいただく接種を進めているところであります。

■生活応援券事業について

生活応援券事業については、12月1日に65歳以上の非課税世帯等の方205世帯に対し、また、追加支援として子育て支援の対象となっていない住民税均等割のみの51世帯の方に対し、

2 回目の「生活応援券」を配付させていただきました。燃料や食料品など物価が高騰するなか、生活の一助としてご利用くださるようお願いいたします。

■原油・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金について

国では電力、ガス、食料品等の高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得者に対し、その生活を支援し、その世帯の生活の安定を目的に、住民税非課税世帯に対し、1 世帯あたり5 万円の現金を給付することとなりました。対象となる4 7 6 世帯の方へは、11 月25 日に支給要



件確認書等の送付を行い、12 月23 日より順次給付できるよう準備を取り進めているところでありま

■敬老祝い品について

本年度におきましても新型コロナウイルス感染症予防のため敬老会を中止しましたが、長寿のお祝いとして、お菓子の詰合せとお赤飯、長寿番付を10 月26 日と27 日に対象者3 4 8 人に対しお配りさせていただきました。

2 日間にわたり早朝より、赤飯づくりにご協力をいただきました。幾寅婦人会の皆様が心から感謝を申し上げます。

■民生委員児童委員の一斉改選について

民生委員児童委員の任期は3 年となっており、本年は一斉改選の年であり、退任されました3 名の後任を含め、改めて11 名の方の推薦を行い、12 月1 日付けで厚生労働大臣並びに北海道知事より委嘱状の交付を受け、新体制により活動を進めているところであります。

また、退任されました民生委員児童委員及び主任児童委員の皆様に対しましては、地域における少子高齢化の進行や、住民意識の多様化と社会福祉に対する

ニーズの高まりなど、地域住民の相談窓口として活動いただきましたことに感謝を申し上げますとともに、今後とも町政運営にご支援、ご協力をお願い申し上げます。

■すこやか子ども室関連

■幾寅保育所における新型コロナウイルス感染症状況について

保育所の新型コロナウイルス感染症防止策については、1 日3 回の検温や健康観察、手指消毒、施設内の換気など基本的な感染予防対策に努めているところであり、11 月中旬以降、北海道内でも新規陽性者数が増加の一途を辿るなか、幾寅保育所の園児及び保育所職員に新規陽性者が複数確認されたことから、陽性者の確認数が多くマスク着用が困難な2 歳児以下のクラスを対象に11 月29 日・30 日の2 日間を休所措置とさせていただきます。

今回の幾寅保育所の休所や登所自粛にあたり、ご理解とご協力を賜りました保護者の皆様には感謝申し上げますとともに、今後とも一層の感染防止対策の徹底を図り、安心して通える保育所運営に努めてまいります。

■防災安全推進室関連

■各町内会における防災訓練について

本年度の各地区防災訓練については、去る10 月29 日に幾寅仲町・住吉町で地域住民22 名の参加をいただき、情報プラザを会場として実施いたしました。

内容については、始めに自宅からの避難を開始し、その後、防災講話、段ボールバットの組立て、非常食の試食などを行いました。

地域における防災意識の高揚及び防災力の向上を図られたものと思うところであります。

今後各町内会等と協議を行いながら、継続的な取り組みを行ってまいります。



教育長の 教育行政報告



■コロナ禍における小中学校の活動状況等について

コロナ禍における小中学校の活動状況等についてありますが、道内の感染者数が増加し、本町においても11 月中旬より町内の児童生徒の感染者が確認されていきましたが、12 月5 日現在において南富良野小学校の同一学年での複数名の感染が確認されたことから、国の「感染者が確認された場合の対応ガイドライン」に基づき、当該学年について12 月6 日から10 日までの5 日間を、学年閉鎖措置としたところであります。

引き続き、国の衛生管理マニュアルなどに基き、登校前の検温や基本的な感染予防対策を徹底し、子どもたちの安全・安心な環境を提供するよう努めてまいります。

学芸会につきましては、南富良野小学校では10 月15 日に、南富良野西小学校では11 月5 日にそれぞれ予定どおり開催し、観覧者は、密を避けるため、父母や町内の家族に限定し、南富良野小学校では、学年毎に観覧者を入れ替えるなどの感染症対策を徹底し行いました。

本年度における教員研修などにつきましては、予定どおり行われており、小中高連携教育推進協議会の学力向上講習会が10 月3 日、4 日の2 日間教育アドバイザーを迎え、各学校において行われました。

11 月10 日には、町PTA 連合会の研修大会が中学校を会場に開催され、講師より「アウトドア教育く野外で伸ばす子どもの力」と題し、講演をいただきました。

■就学時健康診断の実施について

10 月6 日に令和5 年度小学校入学予定者に対する、就学時健康診断を保健福祉センターで実施し、当該児童及び保護者が出席し、学校医及び歯科医による検診、視力・聴力検査、並びに適性検査を実施いたしました。

令和5 年度は、南富良野小学校では12 名、南富良野西小学校では3 名の該当児童がおり、総児童数は1 1 6

名となり6 名増加となる予定であります。

■南富良野高等学校の事業等の取組について

10 月28 日から30 日までの3 日間、「稚内市みどりスポーツパーク」においてカールング部の強化合宿を行いました。合宿に先立ち、育英館大学のキャンパス見学や特別講義を受け、強化合宿においては、同大カールング部で活躍している本校卒業生やコーチから技術指導のもと、大学生との交流試合を行うなど強化練習を実施いたしました。

11 月1 日には、鈴木北海道知事が「なのおみちカフェ」の一環として本校を訪れ、本校が進めるアウトドア活動を柱とする教育活動を視



察されました。また、知事と懇談した2 年生3 名が、本町の恵まれた地域資源を活用した体験型学習や道内公立高校で唯一のカヌー部やカールング部の魅力などについて、これまでの活動成果を交え報告しました。

11 月16 日には、プロアドベンチャーレーサーの田中陽希さんを講師に招き、アウトドア講演会を実施いたしました。町内外からも多くの皆様にご来校をいただき、「それでも僕は歩き続ける」と題した講演では、これまで何度も困難な目標に挑んできた経験から、挑戦を続けることの重要性やその秘訣などについて生徒たちは聞き入っていました。

11 月末現在の進路状況に

つきましては、卒業予定者12 名中、進学は10 名で、私立大学に4 名、専門学校に6 名が合格いたしました。また、就職は2 名で道内民間企業への内定が決まっております。

■イトウに関する事業について

本年度のイトウに関する事業について報告いたします。

調査は、かなやま湖上流の繁殖9 河川で行い、3 6 7 カ所の産卵床を確認しました。平成28 年8 月の豪雨災害前の過去5 年平均値と比較して、平成30 年には34 %にまで激減しましたが、エサとなるワカサギやウグイの回復により繁殖条件が整ったことから、本年は96 %と回復が見られ、更に繁殖適地面積が増大していることから、今後の資源増加が期待できる状況となっております。

また、毎年実施している遡上親魚の全個体調査では、繁殖9 河川のうち1 河川において行い、59 個体の親魚を確認しました。今回捕獲した親魚のうち、22 個体に過去の捕獲歴があり、37 個体が新たに繁殖に参加した個体でした。産卵床調査及び捕獲調査の結果から、本町空知川水系のイトウ個体

群は健全で良好な状態であると示唆されます。

11 月中旬から上旬において実施した、今年生まれた稚魚の生息状況を、北落合地区から幾寅地区までの5 か所で行い、1 1 2 匹の生息が確認できました。このうち、平成28 年の空知川災害復旧改良工事においてイトウ稚魚の生息・越冬場所に人工水路を造成しましたが、今季は70 匹の稚魚が確認され、人口水路が機能していることを確認したところであります。

また、イトウ保護の普及・啓発活動として、町内の小・中・高等学校と連携し、郷土愛を育む地域学習の一環として、総合的な学習の時間などにおいて、授業を行っている時数合計は小学校から高校合わせて1 1 2 時間を活用し、自然学習を行いました。

学習の成果は、各学校において発表されており、本年度は新たに南富良野小学校のご協力により、千里大学において4 年生による学習成果の発表会を行いましたところ

です。今後各町の豊かな自然環境を活用したまちづくりの推進及び、環境学習、イトウの調査研究、環境保全のための普及・啓発活動を引き続き行ってまいります。

アイスクャンドルで新年を迎える（1月1日）

下金山神社・金山神社・南富良野神社（幾寅）の境内と参道には、町民有志「南富良野アイスクャンドル愛好会」の皆さんが製作したアイスクャンドルに灯がともされ新年を迎えました。

参拝者は、温かな幻想的なアイスクャンドル灯を見て、今年1年の無事を願っていました。



下金山神社

子ども朝活事業「南プ塾」

（12月27・28日・1月11日）

冬休み期間中、児童の生活習慣の定着を図ることを目的とした町教育委員会主催による「南プ塾」が開催され、延べ17名の児童が参加し、南富良野小学校と南富良野西小学校の体育館で学習や体験活動が行われました。

「南プ塾」には、南富良野高等学校の生徒がボランティアスタッフとして加わり、タブレット端末を使用した学習のほか、本年度、富良野ライオンズクラブから寄贈を受けましたミニセグウェイを試乗体験し、バランスを取りながら上手に操作をして楽しみました。



新年の平穏と無病息災等に祈り

（1月14日）

幾寅野球スポーツ少年団と南富良野スキースポーツ少年団、南富良野バレーボール少年団による「どんど焼き」が行われました。

この日集まった団員と指導員、育成会員は、各家庭を訪問してお正月のしめ飾りやお札などを集め、南富良野神社境内において焼納し、1年の無病息災・心願成就などを祈願しました。



スキーの楽しさを学ぶ

（1月7・14・21日）

町スキー連盟（西山雅明 会長）と南富良野スキー指導員会（森 彰廣 会長）による町民スキー教室が、国設南ふらのスキー場を会場に、1月7日から3週続け開催されました。

スキー教室には多くの児童が参加し、指導員からスキーの楽しさと安全に滑走する技術を真剣に学びました。



このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

カメラレポート

CAMERA REPORT

農業振興施策に関する建議書（12月21日）

町農業委員会（小林彦一 会長）は「農業振興施策に関する建議書」を高橋町長に提出しました。

建議書では次年度以降の鳥獣被害対策や持続的な営農を図る基盤整備の促進、スマート農業導入に対する支援の継続、農地所有適格法人設立支援、国内外に対する地元農産物のイメージアップのほか、担い手対策や地域が目指すべき農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定に向けた取組など7項目にわたる意見が申し述べられました。

農業経営の安定と振興は重要な町の施策であることから、寄せられた意見を反映させるよう関係機関と連携し検討します。



商工振興施策に関する要望書（12月23日）

町商工会（曾慶一 会長）は「商工会に対する市町村補助金についての要望書」を岩淵副町長に提出しました。

要望書は、次年度の経営改善普及事業及び地域振興事業に要する経費の助成、事務局長設置に関する助成、中小企業・小規模事業者に対する金融支援のほか、小規模企業の振興に関する条例の制定に向けた取組や移住・交流事業に関する支援など6項目について要請する内容であります。

商工業の振興は町の重要な施策であり、また、終息の見えないコロナ禍や物価高騰における町内経済は、大変厳しい状況であることから、新年度の予算編成において検討します。



鏡餅で新年を祝う

（12月23日）

南富良野町もち米部会（武田伸一 会長）より、新年を祝う鏡餅の寄贈がありました。

下金山地区で収穫された「はくちょうもち」を使った大きな鏡餅は、1月6日の仕事始めから役場玄関前に飾られ、訪れる町民の皆さんを出迎えていました。



教育委員会通信

町の文化財や史跡について紹介します 第6回目は、「落合郵便局跡」です。

※第5回目「下金山劇場跡」は1月号に掲載しています。

落合郵便局は、明治35年(1902年)12月に南富良野町字落合1941番地の1に創設され郵便、為替、貯金事務を開始しました。明治43年(1910年)3月には、幾寅郵便局の集配事務開始により、当局の集配事務が分割されました。大正5年(1916年)10月には、簡易保険、郵便年金事務を開始し、昭和8年3月には、電信事務が開始されました。11年1月に電話交換事務を開始し、25年10月には、新得落合間の臨時電話線が開通しました。※平成6年10月に落合郵便局は、現在地(落合163番地)に移転しています。「南富良野町史上巻」から引用抜粋

落合郵便局跡の歴史は、町史に詳しく記載されています。
下記QRコードからご覧ください。



落合郵便局跡



村史



町史

※南富良野町ホームページ内サイト(生涯学習係)にて史跡情報を掲載しています。

南富良野町奨学資金貸付のお知らせ

町(教育委員会)では、町内の高校生以上の在学者で経済的事情により就学困難な方に対し、予算額の範囲内で奨学資金の貸付を行っています。つきましては、下記のとおり募集を行いますのでご利用ください。

- 貸付条件
- ・親権者若しくは、これに代わるべき方が町内に居住していること。
 - ・成績優秀、素行優良で学校長が推薦する方であること。
 - ・経済的理由により、就学が困難な方であること。

- 貸付金額(在学期間中)
- | 在学期間中 | 月額 |
|------------|-----------|
| ・高等学校生徒 | 25,000円以内 |
| ・専門・専修学校生 | 50,000円以内 |
| ・短期大学生・大学生 | 50,000円以内 |

※高等工業専門学校に在学する生徒にあたっては、高等学校生徒及び大学生に準じます。

○償還方法 貸付終了の月の翌日から起算して1年を経過した後、5年以内の償還になります。奨学資金の貸付は無利子です。

○貸付の申請 奨学資金貸付を希望される方は「貸付申請書」に「在学学校長の推薦書」「成績証明書」「住民票抄本」を添えて、奨学資金を受けようとする1ヶ月前までに教育委員会総務係に提出願います。

「貸付申請書」「在学学校長の推薦書」は、教育委員会に備え付けています。

なお、貸付にあたっては、保証人(町内に居住し、独立の生計を営む成年者2人)が必要です。

お問い合わせ先: 教育委員会総務係(52-2145)

南富高新聞

第69号

発行
南富良野高等学校

地域の方とオーナメント装飾づくりをしました！(表彰者多数の終業式)

12月18日、本校被服室で学校開放講座を行いました。本校を「地域の学びの場の一つ」として位置づけ、町内の方々と一緒に楽しみながら学習できる機会を提供したいという思いから生まれた、今年度初の試みとなりました。

当日は町内外から5名の方が参加し、折り紙を立体化させたクリスマスオーナメント(装飾)作りを行いました。講師を務めた本校家庭科木村美香子教諭の説明に熱心に耳を傾けながら、参加者はハサミやのりを使って真剣に取り組んでいました。



また、途中からはお互いに教え合いながら作業を進める微笑ましい光景も見られました。

最後には、赤やオレンジの暖色系や金銀の組み合わせなど、それぞれの好みの色で彩られたオーナメントを完成させました。出来上がったオーナメントに参加者からは、「クリスマススの楽しみが増えた」「また参加したい」といった感想が聞かれました。「地域とつながる教育」を目指し、本校では、今後も町内の方に参加していただけるイベントを企画し、案内していきたいと思っておりますので、ぜひその際はご参加ください。



シリーズ学校だより(239)

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野中学校▶▶▶

伝えることで学びを深める

今年度の総合的な学習の時間の活動をまとめた発表会を11月26日に行いました。

1年生は高齢者福祉について、装具を付けた疑似体験やデイサービスでの交流等を通して学んだ福祉の重要性や難しさを具体的に発表しました。生徒によっては自身の祖父母のことを思い浮かべながら、思いを伝えていました。

2年生は職業体験の発表でした。事前に調べた町内の事業所等の皆様から、終日お世話になって体験してきたことをまとめました。その中で「働くことの意義」について深く考え、働くことはやりがいがあること、人や町の役に立つことなど自分なりの答えを表現

していました。

3年生はこれまでに取り組んできた河川調査のまとめとして、「落差工」に着目して、その上流下流それぞれの水生生物を調べることにより、河川人工物がどのように環境に影響を与えているかを考察しました。自分の考えに沿った資料やイラストなどを用意して、効果的に発表することができました。

多くの学びをインプットするだけに終わらせず、広くアウトプットすることで、自らの学びを振り返り、他者の考えと比較するなどして、新たな課題を見いだしていく。どの教科においても、このように学びを深めています。



1年生



2年生



3年生

子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆☆明るく元気な子にそだちますように☆☆～

☎52-2315

☎090-5985-4339

子育て支援センター

いよいよ寒さも本番を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか？ 保護者やお子さん同士の交流の場として、活用してもらえるよう楽しい企画をしていきますので、寒さに負けず子育て支援センターへ足を延ばして下さいね。お待ちしております♪

ぷっこクラブ（クリスマスの飾り付け製作）



サンタさんの長靴に飾り付け。上手にシール貼り出来ました。



ぷっこクラブ（クリスマス会）



ゲーム遊びとリズム遊びをしました。その後、サンタさんが登場！プレゼントを貰って、一緒に記念撮影しました。



保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

12月24日、幾寅保育所ではクリスマス会を行いました。前日から大雪が降っていましたが、サンタさんは、こんな天気でもプレゼントを持ってきてくれました。プレゼントを手渡された子どもたちは、とっても嬉しそうに「ありがとう」と笑顔いっぱいでした。サンタさん！来年もいい子にしておいてね☆☆



金山保育所

12月上旬に保育所でお餅つき会を行いました！もち米の状態からふくらむふわふわしたお餅に変わる様子を見て、大興奮する子どもたち☆「かまくらみたい〜！」と身近なものに見立てては、お友達同士で楽しむ姿が見られました。試食では自分の好きな形にお餅を丸めて美味しそうに口へ運ぶ様子が印象的でした♪



しょうぼう広報

ほのお

富良野消防署南富良野支署

☎52-2119 FAX 52-2979

✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp

災害案内 ☎52-3119



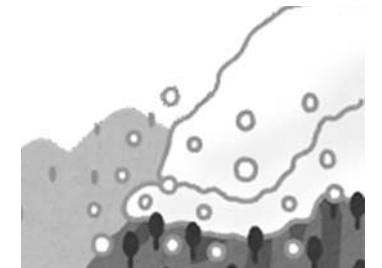
冬山のリスクに備えましょう！！



◎雪崩を警戒しましょう。

雪崩は豊富な知識と経験があっても予測することは困難です。

雪崩の危険を回避するために重要なことは、常に自分自身がどこにいるのか地形を見極めて行動することです。斜面を登る時のルート取り、休憩するポイント、グループから離れて滑った後で再び集合する場所などを事前に把握しましょう。



◎ホワイトアウトに対応できる知識を身に付けましょう。

常に自分の現在地を把握しておくことが重要です。現在地に自信がない状況に陥ったら、動かず、視界がクリアになるまで待機することが一番安全です。また、地図が読めることが前提となりますが、スマートフォンに登録地図ナビアプリをダウンロードして軌跡を辿れば引き返すことも可能です。その意味でも地図の読み方と知識を身に付け、更に専用アプリなどを活用することによってリスク回避に繋がります。

◎遭難に注意しましょう。

スキー場の管理区域外は、コース表示やロープなどの目印がないため、現在地やコースに戻る方向が分からなくなります。また、雪崩に巻き込まれたり、立木への衝突、雪穴への転落などの危険があります。

滑走をする際は、立入規制の有無や滑走箇所におけるルールを守るとともに、慎重な行動を心掛けましょう。



男性・女性消防団員募集！！

消防団に関することは消防係まで



南富良野支署出動件数（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

○救急出動 145件（うちドクターヘリ要請件数 19件） ○火災出動 4件（うち他市町村応援出動 1件）
○救助出動 4件

「税を考える」取組に対して

○南富良野小学校へ感謝状

児童に対する租税教育の推進に尽力し、租税の役割や国民の納税の義務について、正しい知識の普及に大きく貢献した南富良野小学校へ、栗林政弘富良野税務署長が来校し、尾崎雄一校長へ感謝状が贈られました。

南富良野小学校では、国税庁が実施する「税を考える週間」にちなみ、書道展を通じて租税教育や、租税教室が行われ、税金の必要性についての学習が行われています。

○山本あす美さん
早坂 玲美さん
へ表彰状



左から) 栗林税務署長、山本さん、早坂さん、尾崎校長

富良野地方人会女性部会による令和4年度「税に関する絵はがきコンクール」において、優秀な成績をおさめた南富良野小学校山本あす美さん(6年生)と早坂玲美さん(4年生)へ、表彰状が授与されました。

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。
南富良野町へ

○幾 寅 大友忠雄様より故大友傳様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

○北落合 加藤清一様より故加藤ヒサ様生前のご厚志に対するお礼として 十万円

○幾 寅 小林彦一様より故小林吉枝様生前のご厚志に対するお礼として 十万円

社会福祉協議会へ
○幾 寅 大友忠雄様より故大友傳様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

○幾 寅 小林彦一様より故小林吉枝様生前のご厚志に対するお礼として 十万円

○下金山 榎永井工務店様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 十万円

○幾 寅 幾寅婦人会様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○下金山 平野清司様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 二万円

○幾 寅 田嶋廣幸様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○札幌市 山内茂樹様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

☆お誕生おめでとう

落合 荒木 照

令和4年11月29日生まれ

★お悔やみ申し上げます

下金山 大友 傳(92)

令和4年12月15日逝去

北落合 加藤 ヒサ(89)

令和4年12月17日逝去

幾 寅 小林 吉枝(97)

令和4年12月25日逝去

南 わたしたちのまち

(令和4年12月末日現在)

人口 2,341人(△3)

男 1,197人(△1)

女 1,144人(△4)

世帯数 1,336戸(△1)

() 内は前月比